

# 沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

## I 研究業務状況

### (1) 二部門以上共通

1. タイ・ラオスの伝統文化研究  
[担当：伝統工芸部門、伝統芸能部門]
2. 沖縄伝統文化研究資料の収集・データベース作成  
[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門]

### (2) 芸術・文化学部門

1. 地域文化の調査研究
  - a 『琉球国由来記』の研究 [担当：波照間永吉教授]
  - b 沖縄の神歌の調査研究
  - c 波照間島の伝統文化の調査研究 [担当：波照間永吉教授・川平成雄調査員・平良勝保調査員・西岡敏調査員・飯田泰彦調査員・久貝典子調査員・照屋理調査員]
2. 『鎌倉芳太郎資料集ノート篇（2）』の編集・刊行 [担当：波照間永吉教授]
3. 沖縄図像データベースの作成 [担当：尾形希和子助教授]
4. 沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「琉球王国と金属文化」 [担当：波照間永吉]

平成17年10月7日～12月21日（午後7時～9時）

第1回 10月7日 朝岡康二（沖縄県立芸術大学学長）

「沖縄の鉄文化～鍛冶の世界～」

第2回 10月14日 山本正昭（沖縄県埋蔵文化財センター専門員）

「首里城出土の金属製品」

第3回 10月21日 安里 進（浦添市教育委員会文化部部長）

- 「浦添グスク出土の金属製品」
- 第4回 10月26日 久保智康（京都国立博物館学芸課工芸室室長）  
「古琉球の金工品～在地製作と流通をめぐって～」
- 第5回 11月8日 久保智康（京都国立博物館学芸課工芸室室長）  
「琉球王府工房の金工製作～その特質と源流～」
- 第6回 11月16日 波照間永吉（沖縄県立芸術大学附属研究所教授）  
「『おもろさうし』にみる金属文化」
- 第7回 11月25日 眞栄平房昭（神戸女学院大学教授）  
「琉球とアジアの金属交流史」
- 第8回 12月2日 栗国恭子（大学非常勤講師）  
「琉球の梵鐘～古琉球の響き～」
- 第9回 12月9日 栗国恭子（大学非常勤講師）  
「祭祀道具と金属文化～神女の簪・耳盃・錫瓶～」
- 第10回 12月21日 栗国恭子（大学非常勤講師）  
「鎌倉芳太郎資料の金工品」

5. おもろ研究会（平山良明代表）開催 [担当：波照間永吉]

### (3) 伝統工芸部門

1. 沖縄染織の研究 [担当：柳 悦州教授]
2. 織物技法研究 [担当：柳 悦州教授]
3. タイ・ラオス織物文化研究 [担当：柳 悦州教授]
4. 鎌倉芳太郎紅型型紙の画像データベース作成と研究 [担当：柳 悦州教授]
5. トルコとコーカサス、およびその周辺地域の機織り文化研究 [担当：柳 悦州教授]
6. 文化講座「織物講座 ー基礎理論編ー」全8回 [担当：柳 悦州教授]
  - 第1回 9月6日 「織物とは、繊維（1）」
  - 第2回 9月13日 「繊維（2）、繊維の形状と性質」
  - 第3回 9月20日 「染料（1）」
  - 第4回 9月27日 「染料（2）、機の構造と機能」

第5回 10月4日 「織物の組織, アジアの織物」

第6回 10月11日 「沖縄の紋織組織」

第7回 10月18日 「沖縄の絣織物」

第8回 10月25日 「沖縄の服飾」

全8回とも講師は柳が担当

#### (4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽調査研究 [担当：久万田晋助教授]

A 奄美大島宇検村・瀬戸内町の伝統行事・民俗芸能の調査研究（8～9月）

B 宮古諸島におけるクイチャー芸能の調査研究（11月）

2. 沖縄奄美民俗音楽・芸能関係資料の収集 [担当：久万田晋助教授]

3. アジア諸地域の伝統音楽芸能調査研究

A インドネシア・バリ島の音楽芸能の調査研究 [担当：梅田英春助教授]

B タイ南部（プーケット島）の伝統芸能調査 平成18年3月18日～26日 [担当：久万田晋助教授・梅田英春助教授]

4. 文化講座（無料）「初心者のための琉球舞踊入門」全10回 [担当：久万田晋助教授]

第1回 1月23日（月）板谷 徹（沖縄県立芸術大学音楽学部教授）  
講義「琉球舞踊概論その1」

第2回 1月26日（木）板谷 徹（沖縄県立芸術大学音楽学部教授）  
講義「琉球舞踊概論その2」

第3回 1月30日（月）久万田晋（沖縄県立芸術大学附属研究所助教授）  
講義「沖縄の民俗芸能における舞踊」

第4回 2月2日（木）水野 桃子（沖縄県立芸術大学附属研究所共同  
研究員）  
実技「古典舞踊の基本1 扇のかまえ方、歩き方、かぎやで風  
（1番）」

第5回 2月7日（火）水野 桃子

実技「古典舞踊の基本2 かぎやで風(2番)」

第6回 2月9日(木) 水野 桃子

実技「古典舞踊の基本3 かぎやで風(3番、4番)」

第7回 2月13日(月) 水野 桃子

実技「雑踊り1 手の使い方、かぎやで風(復習)、浜千鳥(1番)」

第8回 2月16日(木) 水野 桃子

実技「雑踊り2 かぎやで風(復習)、浜千鳥(2番)」

第9回 2月21日(火) 水野 桃子

実技「雑踊り3 かぎやで風(復習)、浜千鳥(3番、4番)」

第10回 2月23日(木) 水野 桃子

実技「かぎやで風、浜千鳥の仕上げ」

## Ⅱ 主要研究業績

### 1) 研究所員主要研究業績

1. 著書・編書
2. 論文
3. 作品発表・公演
4. 研究発表
5. 解説等
6. 講演・放送
7. その他

### 2) 助成研究

1. 平成17年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
  - a 研究代表者となっているもの
  - b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学芸術振興財団助成研究
3. その他

## (1) 研究所長

波照間 永吉 (教授、専任教員)

- 1) 2. 「琉球・沖縄芸能史年表総説」『琉球・沖縄芸能史年表』(第1集)  
(共編) 国立劇場おきなわ
5. 『琉球・沖縄芸能史年表』(第1集)(共編) 国立劇場おきなわ 平成  
17年3月31日
6. 鼎談「地域交流軸一考察」沖縄・奄美まちづくり交流会 平成17年  
4月22日
6. 「八重山民謡の歌詞の表記と発音—八重山のことばと歌詞の記載を  
中心に一」安室流協和会講演会 平成17年5月28日
6. 「沖縄の芸能のみなもと—村アシビから組踊へ—」那覇南ロータリー  
クラブ講話 平成17年6月6日
6. 「鎌倉芳太郎先生と沖縄資料」日本民藝協会夏期学校 平成17年6  
月11日
6. 「『おもろさうし』にみる金属文化」沖縄県立芸術大学附属研究所公  
開講座「琉球王国と金属文化」第6回 平成17年11月16日
7. 書評「大城學『沖縄の祭祀と民俗芸能の研究』」『沖縄文化』99号  
平成17年6月16日
7. 「八重山舞踊の採りものと象徴性——『曙光のきざはし』に寄せて」  
『曙光のきざはし』公演パンフレット 島袋トキ子八重山民俗舞踊  
研究所 平成17年2月27日
7. 「八重山の風土と文化に導かれて」『創立十周年記念誌 あやぱに』  
石垣市文化協会 平成17年6月13日
7. 「奄美・沖縄民間文芸学会への誘い」『琉球新報』平成17年3月21日

## (2) 芸術・文化学部門

尾形 希和子 (助教授、兼任)

- 1) 2. 「ロマネスクの怪物の図像 —言葉と図像をめぐる一考察—」(特集  
「記憶表彰のトポス」)『EXORIENTE』12号 発行：大阪外国語大  
学言語社会学会 発売：嵯峨野書院 pp.67-110 平成17年9月

7. 翻訳「レスター手稿第14紙葉表 (p.40)、第34紙葉表 (p.42)」(直筆ノート・日本初公開)『レオナルド・ダ・ヴィンチ展』カタログ TBSビジョン・毎日新聞社発行(森アーツセンターギャラリー 平成17年9月15日～11月13日)

### (3) 伝統工芸部門

#### 柳 悦州(教授、専任教員)

- 1) 2. 「沖縄の天秤腰機と紋織りの復元」『沖縄芸術の科学』17号 pp.1-28  
沖縄県立芸術大学附属研究所 平成17年3月31日
3. 絹経浮帯「Nさんへ」第78回《国展》東京都立美術館 平成17年4月
6. 講演「花織りの魅力を探る」特別企画展「よみがえった伝統の技・美・心を今に伝える -読谷村花織展-」関連講演会 読谷村総合福祉センターホール 読谷村・読谷村教育委員会 平成17年6月18日
6. 講座「織物とは, 繊維(1)」附属研究所文化講座「織物講座 -基礎理論編-」第1回 附属研究所 平成17年9月6日
6. 講座「繊維(2), 繊維の形状と性質」附属研究所文化講座「織物講座 -基礎理論編-」第2回 附属研究所 平成17年9月13日
6. 講座「染料(1)」附属研究所文化講座「織物講座 -基礎理論編-」第3回 附属研究所 平成17年9月20日
6. 講座「染料(2), 機の構造と機能」附属研究所文化講座「織物講座 -基礎理論編-」第4回 附属研究所 平成17年9月27日
6. 講座「織物の組織, アジアの織物」附属研究所文化講座「織物講座 -基礎理論編-」第5回 附属研究所 平成17年10月4日
6. 講座「沖縄の紋織組織」附属研究所文化講座「織物講座 -基礎理論編-」第6回 附属研究所 平成17年10月11日
6. 講座「沖縄の絣織物」附属研究所文化講座「織物講座 -基礎理論編-」第7回 附属研究所 平成17年10月18日
6. 講座「沖縄の服飾」附属研究所文化講座「織物講座 -基礎理論編

一」第8回 附属研究所 平成17年10月25日

7. タイ北部織物調査 平成17年3月23日～30日

- 2) 1. b 「自然と共存できる植物の織物利用への可能性」総合地球環境学  
研究所「亜熱帯島嶼における自然環境と人間社会システムの相互作用」共同研究 共同研究代表者：朝岡 康二（沖縄県立芸術大学学  
長）

#### 島袋 常秀（教授、兼任教員）

- 1) 3. 「鉄絵草文皿」他2点 05やちむん展 読谷村美術館 平成17年2  
月  
3. 「赤絵草文皿」 沖展 浦添美術館 平成17年3月  
3. 「鉄絵草文皿」 国展 東京都美術館 平成17年4月

#### 長尾 紀壽（教授、兼任教員）

- 1) 3. 軸装「<sup>こがね</sup>黄金の花」京都工芸美術作家協会展 京都府文化芸術会館  
平成17年3月  
3. 二曲一双屏風「収穫・<sup>こがね</sup>黄金の花」、紅型色臙型衣裳「黄金の花文様帷  
子」第15回染・清流展 京都市美術館 平成17年5月  
3. 二曲屏風「<sup>ていだ</sup>太陽の恵み」天理ビエンナーレ '05 第22回天展 平  
成17年10月  
3. 紅型色臙型衣裳「アップル・マンゴー文様」第60回新匠工芸会展  
京都市美術館、東京都美術館 平成17年11月  
3. 屏風9点、着物6点、タペストリー1点 沖縄県立芸術大学退任記  
念展 長尾紀壽 型染作品展「南風の島」 沖縄県立芸術大学附属図  
書・芸術資料館 平成17年12月

#### (4) 伝統芸能部門

##### 梅田 英春（助教授、兼任教員）

- 1) 2. 「『中国趣味』から共存へ——西洋音楽におけるバリ島のガムランの  
影響」『MOUSA（沖縄県立芸術大学音楽学研究誌）』6:43-58 平

成17年3月

2. 「タイ人形影絵芝居に関する調査報告——2000年、2004年のタイ芸能調査から」『沖縄芸術の科学（沖縄県立芸術大学附属研究所紀要）』17:29-51 平成17年3月
2. 「儀礼かそれとも見世物か？——バリのサブ・レゲール儀礼におけるワヤン上演の変化——」『沖縄県立芸術大学紀要』13:47-65 平成17年3月
2. 「バリ島の影絵芝居ワヤンにおける人形の手表現と役割」『信学技報』53:13-18 平成17年10月
3. 《奏楽堂演奏会:いのること たたくこと——バリ島のガムラン音楽とその西洋音楽への展開》（沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール 平成17年3月21日）における企画・制作・演奏
3. 《バリ島ワヤン公演——クンバカルナの戦死》 山形県小国町小玉川村（平成17年7月17日）におけるワヤン上演と解説
3. 《OPIM-02 トークコンサート「境界のはざままで（1）——ヴァイオリンできくチェコ音楽の世界》（沖縄県立芸術大学附属研究所3F講堂）における企画およびトーク
3. 《沖縄県与勝高等学校芸術鑑賞会 ガムラン公演》（与勝高等学校、平成17年11月13日）におけるレクチャー・演奏
3. 「国家がかたちづくる『芸術』」シンポジウム「国家がかたちづくる芸術——音楽・芸能史における文化政策」の趣旨説明 東洋音楽学会第56回大会 札幌大谷短期大学 平成17年10月2日
4. 「『ワヤンの人形遣い』となったバリのダラン——バリ州政府の文化政策により剥奪されたダランの宗教性」東洋音楽学会第56回大会 札幌大谷短期大学 平成17年10月2日
4. 「インドネシアの影絵人形における『手』の役割」電子情報通信学会、「手」およびヒューマン情報処理研究会 琉球大学 平成17年10月20日
7. 「ガムランへの招待」『琉球新報』 平成17年3月14日
7. 「沖縄の実演家によるジャワ芸能体験①」『琉球新報』 平成17年8



月 1 日

- 2) 1 b. 「沖縄における近代の身体化——御冠船踊りの受容をめぐって」研究代表者：板谷徹 平成17～19年度基盤研究 (B) (一般)
3. 国立民族学博物館共同研究「インドネシアにおける「近代」の咀嚼」研究代表者：鏡味治也 平成17年度
3. 国立大学法人共同利用施設連携研究「日本コロンビアの「外地」録音に関するディスコグラフィ的研究」研究代表者：細川周平 平成17年度

### 比嘉 康春 (助教授、兼任教員)

- 1) 3. 平成17年 1 月 8 日 国立劇場おきなわ企画公演第10回琉球舞踊公演「琉舞名人選」地謡
3. 平成17年 3 月12日 国立劇場おきなわ企画公演第13回琉球舞踊公演地謡
3. 平成17年 5 月29日・30日 国立劇場おきなわ企画公演第 5・6 回三線公演 コーディネーター
3. 平成17年 6 月18日 佐辺良和独演会 あら穂花「作詞、作曲」及び地謡
3. 平成17年 8 月27日・28日 国立劇場おきなわ企画公演第 9 回組踊公演「万歳敵討」地謡
3. 平成17年11月 5 日・6 日 島結び～鼓童・佐藤太圭子～地謡、挿入歌作詞
3. 平成17年11月12日 国立劇場おきなわ企画公演第19回琉球舞踊公演「創作舞踊今昔」地謡
4. 平成17年10月29日 日本音楽教育学会第36回大会フォーラムのパネリスト
6. 平成17年 1 月14日 東村立有銘中学校特別講話「歌三線の魅力」講師
6. 平成17年 4 月24日 浦添市市民講座「歌三線の魅力」講師 (当山自治会)

6. 平成17年7月16日 現代邦楽研究所特別講義「沖縄の音楽」の講師  
東京：洗足学園大学

久万田 晋（助教授、専任教員）

- 1) 2. 「沖縄の音楽からみる和声」『21世紀の音楽入門6 和声』教育芸術社 pp.82-91 平成17年春号
2. 「沖縄市における音楽文化史」（共著者：清村まり子・三島わかな）『沖縄市ミュージックタウン基本構想策定調査報告書』沖縄市経済文化部文化観光課 pp.5-30 平成17年3月
2. 「20世紀沖縄におけるポピュラー音楽の展開－新民謡から沖縄ポップへ－」櫻井哲男・水野信夫編『諸民族の音楽を学ぶ人のために』世界思想社 pp.148-168 平成17年12月25日
4. 「奄美の民俗祭祀について－ノロ儀礼を例に－」法政大学院日本学研究所西南方史研究会2005年度年次研究フォーラム<日本の中の異文化 琉球弧の文化研究をめぐって> 那覇市：沖縄大学 2005年7月24日
4. 「現代エイサーをめぐる諸状況の展開－青年ふるさとエイサー祭りを中心に－」（社）東洋音楽学会第56回大会 札幌市：札幌大谷短期大学 2005年10月2日
4. 「チョンダラーをめぐる諸問題」第3回「日本・琉球・中国・韓国における民間文化交流の研究」研究会（主催：甲南大学総合研究所日琉中国・韓民間文化交流研究プロジェクトチーム）那覇市：沖縄県立芸術大学附属研究所 2005年11月5日
4. 「沖縄の平和運動・思想と音楽」日本音楽学会主催2005年度支部横断企画「シンポジウム：＜音楽と平和＞を考える」にパネリストとして参加・発表 京都市：京都市立芸術大学 2005年11月26日
6. 「日本の大衆音楽における沖縄イメージの展開」沖縄県立芸術大学附属研究所平成16年度文化講座<沖縄の大衆文化の広がり>第3回 那覇市：沖縄県立芸術大学附属研究所 2005年2月22日
6. 「沖縄音階のヒットの源流」那覇市教育委員会主催「文化財講演会」

那覇市教育委員会 2005年3月13日

6. 「沖縄の民俗芸能」観光学・起業支援講座Ⅰ（主催：沖縄県若年就労者キャリアアップ推進委員会）沖縄県西原町：琉球大学 2005年11月12日
7. 「沖縄の音楽」auウェブサイト（携帯電話専用）『うちなーんちゅ沖縄』（株）フォーチュンゲート
- 2) 1. b 「グローバル化状況下における芸術の論理と倫理」平成14～17年度基盤研究A 研究代表者：藤田一美（東京大学教授）
1. b 「沖縄県宮古諸島における儀礼歌謡の収集・研究とデータベース化」平成16～18年度基盤研究B（2）研究代表者：玉城政美（琉球大学教授）
1. b 「沖縄における身体近代化－御冠船踊りの受容をめぐって－」平成17～19年度基盤研究B 研究代表者：板谷徹（沖縄県立芸術大学教授）
3. 「日本・中国・沖縄における民間文化交流の研究」平成17年度甲南大学総合研究所共同研究 研究代表者：高阪薫（甲南大学教授）